

令和7年度 第1回

「五泉市総合計画市民まちづくり会議」兼

「五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民検討委員会」の

まとめ

五泉市企画政策課

■開催概要

令和8年度に現行の五泉市総合計画及び五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間が終了することに伴い、両計画を一体的に検証・策定を行うため、令和7年度より五泉市総合計画市民まちづくり会議と五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民検討委員会を兼ねて実施していくこととしました。

第1回は、令和2年2月に策定した「第2次五泉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の推進にあたり、各事業の評価・検証を行うことを目的として開催しました。

意見交換では、4つの基本目標ごとに、数値目標・重要業績評価指標(KPI)達成に向けた取り組みの方向性や今後の展開、施策・事業の改善点などについて、ご意見・ご提案をいただきました。

日 時	第1回 令和7年7月16日(水)14時～16時00分
会 場	五泉市総合会館 2階 会議室1～4
参加委員	20名 (産学官金労言士、デジタル、保健福祉等の各分野計27名で構成)
内 容	●説明 (1)第3次総合計画及び総合戦略の策定について (2)策定体制・策定スケジュールについて (3)五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証方法について ●意見交換 令和6年度事業での「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」

■会議の様子



■意見交換「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」

基本目標	意見
<p style="text-align: center;">I 未来世代を 守り育てる</p>	<p>【基本方針1】妊娠・出産・子育ての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産、教育に関しては新しいものを取り入れており環境が良くなっているが、市民がそれらを目に見えて分かっているかという点と難しい。隣の新潟市に対して若い人が魅力を感じているということは否定できないので、新潟市とのつながりを充実させることが必要。 就職するのも学校で教育を受けるのも新潟市の方が便利だけれども五泉市に住んでいる。新潟市のいいところを利用して五泉市に住むという方向でもいいのではないかと。 ・ 子育て環境については目標値を達成できているので事業が充実していると考えられるが、妊娠出産についてはとても難しい。雇用の創出など、若い人が暮らしていける環境はとても大事である。五泉市の中でも人口が急速に減っている地域と、緩やかな地域がある。五泉市内での移動もあるし、五泉市から新潟市にという移動もあるので、そのような視点で注目して分析してみるのもよいのではないかと。 ・ 子育てに関する制度は充実していて子育てしやすいと感じるが、他市においては、五泉市よりも自己負担額を安くしているところもあると聞く。 また、親世代が仕事と育児を両立するためにも、例えば子どもが医療機関を受診する際に午前中は優先的に子どもを診療するような制度もあつたらいいのではないかと。優先的に子どもを見てくれるような医療機関があると子育てしやすい環境になるのではないかと。 ・ 保育無償化は第3子以上としているが、阿賀町や聖籠町の制度はもっと充実している。人口のバランスの違いもあると思うが早急に取り組んでいただきたい。 ・ 妊産婦の医療費助成については充実していると思うが、その情報をPRすることが足りていないのではないかと。妊娠されている本人たちだけでなく、市民が情報を共有しなければならない。 ・ 五泉市中央病院があり、様々な財政的支援を行っているようだが、救急医療体制が整っているとは感じない。ソフト的な支援だけでなく、安心して子育てし医療が受けられるようにインフラ整備も考えていただきたい。 ・ 出生率が全国的に下がっているなかでそれを増やすことはとても難しいが、人がそこに住んでいない限りそれは絶対に上昇しない。雇用などの施策と横断的に取り組むことが大切なのではないかと。 ・ 学童クラブを利用できた子の割合は100%となっているが、障がい児については放課後デイサービスの利用率はそれほど高くない。短期入所やグループホームなどの福祉サービスも十分に整備されているとは言えないので、新潟市へ転出して利用するという現状もある。 ・ 青年会議所では、今年は人口減少ということに重きを置いて活動している。若い人の出会いの場があるのか、子育てしやすい環境なのか、ということについて若い世代の意見を情報収集して市に届けようと思っている。 ・ 自分自身も子育てをする中で市の事業を利用して助かっているが、保育料の無償化などに力をいれて他市へもっとPRすることが大事なのではないかと。他県や他市町村の情報を見ていると大胆な支援を行って実際に効果のあっているところもある。大胆な施策を展開していただきたい。

<p style="text-align: center;">I 未来世代を 守り育てる</p>	<p>【基本方針2】教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の夢や目標を持っている生徒の割合については良い数値で記載されているが、県や全国が目指している数値とは違っている。他はもっと上を目指しているの、この実績で満足せずにもっと上を目指して、子どもたちが憧れるような大人といかにして出会わせていくかということが開拓できるのではないか。 ・ 伊藤文吉氏の言葉で「子どもが夢を持つには地域への誇りを持つ」と言っている。五泉市の人は地域への誇りを持っている人が非常に少なく感じる。五泉の甘粕氏や村松の堀家など、地域の先人に対する誇りを持っている人は少ない。地域愛が育っていないと若い人はどんどん流出する。地域を溺愛するくらいの地域コーディネータが学校で地域の歴史を教えることで、それを聞いた子どもたちが地域を知り、地域愛になり、地域に誇りを持つことになり夢が育つ。五泉市はそれが不足していると感じる。 ・ 何に力を入れてくのか、ということを考えなければならない。人を呼び込むことも大事だが、もともと住んでいる人が五泉市に愛着を持ち続けられるような施策、例えば教育などに重きを置いていくというような方法もいいのではないか。
<p style="text-align: center;">II 産業の活力 を高める</p>	<p>【基本方針1】地場産業の振興・産業競争力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園芸への支援施策も実施していただいているが、園芸自体人手も必要となるため、その分、他の支援に上乗せするのも一考されてはどうか。 ・ ニットの生産額が達成困難というのは意外である。すでに頑張っているが、例えばすでに販路が確立されているところに供給していく、五泉市のブランドで押し進んでいくだけでなく、五泉のニットは品質がとても良いので、そういった販路が確立されているところへの取組も一つされても良いのではないか。 ・ さともやニットなどのブランドをさらに力を入れて情報発信をしてほしい。 <p>【基本方針 2】就業環境の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給料がもらえて働けるところが重要。五泉に働く場所があればたくさん人が集まり、五泉の魅力づくりにつながる。企業誘致もどんな企業が誘致されたのか市民から見えてこない。 ・ 不動産業をしていると、商売をする方から店舗の要望が結構くる。ごせん起業家応援補助金やリフォーム補助金など、ニーズが多くのある事業は当初から予算をたくさんつけてもらいたい。
<p style="text-align: center;">III 五泉の魅力 をつなげる</p>	<p>【基本方針 1】地域の特性を活かした交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光については、ラポルテ五泉だけに集中している。他の観光施設に流れていない印象。市でも認識されている通りだと思う。 ・ 合宿誘致についても、スポーツツーリズムのようなものは関係人口に繋がる取組だと思うため、引き続き力を入れてほしい。 ・ シティプロモーションはKPIが動画を何本作る、ホームページに記事を何ページ上げるなどになっているが、作って終わりではなく、どのくらい見られたのが重要のため、指標がKPIになじまないと感じる。ページレビューなどの指標にされるのが良いと考える。

<p style="text-align: center;">Ⅲ 五泉の魅力 をつなげる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃校利用は前倒しで検討したら良いと以前にも意見を申し上げたこともあったが、現在にあって老朽化が進んだというのは残念に考える。次に空く学校などあると思うが、早急に対策されたい。 ・ 五泉は花をPRしており、観光客の宿泊施設で「咲花」という花のプロモーションに対し最高のネーミングなのにバズらない。観光 PR やプロモーションがあると良い。 <p>【基本方針 2】地域の魅力を活かした移住の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェルカムファミリー住まいる事業は他の市町村と比較しても支援が厚い補助金。引き続き続けていてもらいたい。 ・ 空家バンクについては、あまりに状態が悪く民間事業者が断ってしまうような物件が登録するようになってきているため、今後も市と不動産業協会で見直しをしながら進めていてもらいたい。 ・ 空家バンクは登録のしづらさだけではないと思うので、引き続き検証し、地道にやっていくしかないと思う。 ・ 地域おこし協力隊の活動はSNSで見かける程度で効果が限定的に感じる。市民も地域おこし協力隊に協力をお願いしていくことで、活動が見えたり理解が深まるのではないかと。
<p style="text-align: center;">Ⅳ 確かな暮らしを 充実させる</p>	<p>【基本方針 1】未来へつながる安全・安心なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通救命講習について、地域住民は興味を持っていない。町内会長会議などでもっとアピールすればいいのではないかと。 ・ 自主防災組織については「市が補助金を交付するから」ではなく、組織の設立から運営まで市がもっと関与する仕組みにした方がよい。 ・ ナッジ理論を活用した受診勧奨はがきを送っているようだが、そもそもはがきを見ずに捨ててしまうような人も。そういう人たちにもどうにかして検診を受けてもらうような手法はないだろうか。 ・ 小規模な町内会では防犯カメラを設置するというような新しい取り組みよりも、既存の防犯灯をLEDに交換する程度の消極的な維持管理しかできていないのが実情である。郊外の町内会は集落センターや消防倉庫などの施設が充実しておりしっかりと活動ができているのではないかと。市街地の町内会はそのような設備がなく地域差を感じる。 ・ あんしんメールは登録しているが公式 LINE のことを知らなかった。とても便利なツールだと思うので若い人にPRして市民にリーチしていくことを進めてほしい。登録した人にクーポンを付与するなどの方法でもっと登録者を増やせないかと。 ・ 老人クラブがもっと活発になってもらいたい。スポーツ大会など、活発に活動している地域もある。 ・ 障がい福祉施設利用者はさくら号をたくさん利用している。利便性を高めるために30分ごとの定時運行ではなくもっと融通の利く仕組みにすれば利用者は増えていくのではないかと。 ・ ふれあいバスは日中など乗客の少ない時間帯もあるようだが、高校生の通学になくしてはならないものである。実際に時刻表を見て利用してみると、便利な面もある。市の制度は使ってみて初めてその便利さを感じることもある。 ・ 公共交通に関して、免許を返納してから初めてバスを使うのは難しい。もっと早い段階で公共交通の利用を促す取り組みも必要だと思う。

<p style="text-align: center;">IV 確かな暮らしを充たす</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織率などの基本方針における数値目標が、人口減少対策という柱のもとではどちらかというKPIなのではないか。今後、新たな計画を作る中でその組み立ては変わるのだろうと思うが、例えば「安全安心なまちづくり」という柱であれば「市民がどう思っているのか」「健康長寿のために運動する機会があるのか」というような項目が上位にあって、自主防災組織率や医療費の額については手法に基づく結果にすぎないのでどちらかというKPIに近いのかなと思う。新しい計画においてはデジタル的な要素は必須になってくると思う。今はKPIの一つとしてあんしんメール登録者数などが設定されているが、それらの項目を次の計画にどのように位置づけるか意識した方がよい。
<p style="text-align: center;">総合戦略 全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な施策を実施されているが、施策の情報がどの分野についてもなかなか市民に届いていない。PRの仕方を検討し、SNSなど自然に目に入るような情報発信を行っていく必要があるのではないかな。 ・ 指標は概ね達成済み、達成見込みが多く素晴らしいと感じる。達成困難というものはやめて、次の施策を検討してもいいのではないかな。 ・ 五泉市は自然が豊かで、蛍を見に市内ではなく新潟市などから多くの人々が来ているようだ。市外の人に喜んでもらえることはとても良い。 ・ 施策を用意して施策を整えてそれぞれ目標値をクリアしていけば結果として人口減少の抑制になるのかというと、それだけでは十分ではないのではないかな。市民が市の施策をどのように受け止め、利用し、満足し、進学する際に市から出ていくかもしれないけど、いずれ自分の大好きな五泉市に帰ってきて結婚して子育てするというのをどうやって目指していく、実現していくためのパワーのようなものをどうやって五泉市民と一緒に作り上げていくのかということも議論が必要であると思う。 ・ 市の計画を立てる際に行政の施策だけでは達成するものではない。基本目標や方針は市民に伝わりやすいものが良い。市民の皆さんや、委員の皆さん、行政に協力してくださる皆さんが計画を受け止めて、それに対して行政がアプローチする際に、それぞれの取り組みの中で目標を意識していただくためにも伝わりやすく、基本方針とマッチしているものが良い。 ・ 五泉の財政の弾力性や経常収支を見ると五泉市の財政は健全であるのだと思う。しかし、複合施設や中間処理施設を建設して、今後、公債費率はどんどん上がっていくのではないかと心配している。計画が絵にかいた餅にならないようにしてもらいたい。